

 南三陸町立歌津中学校	<p>歌津中学校だより</p> <h1>たつがね</h1> <p>教育目標 志をもち、たくましく未来を拓く生徒の育成</p> <p>令和6年9月現在：1年30名/2年37名/3年29名 計96名 学級数：5</p>	令和6年9月13日 第25号 文責：伊藤 浩志
--	---	-------------------------------

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果と考察及び対策について

令和6年度の「全国学力・学習状況調査」（国語・数学の2教科で実施）の結果を受けた考察及び対策について保護者の皆様にもお知らせいたします。各教科の正答率は、全体的に宮城県平均を下回る結果でした。一方で、教科への興味や理解度などは、各項目で全国及び宮城県平均を上回る結果を得ています。今後、改善策をもとに教職員一丸となって今まで以上に学習指導等に邁進してまいります。ご協力とご支援をよろしくお願いします。

1 国語科

(1) 国語における平均正答率及び宮城県・全国との比較

※比較については、+/-で差を記入

	知識及び技能			思考力・判断力・表現力等			合計
	(1) 言葉の特徴(使い方)に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	話すこと	書くこと	読むこと	
歌津中	50.0	45.8	62.5	47.2	62.5	35.4	48.0
宮城県	57.3	58.4	76.3	58.5	65.7	47.4	57
全国	59.2	59.6	75.6	58.8	65.3	47.9	58.1
県比較	-7.3	-12.6	-13.8	-11.3	-3.2	-12.0	-9.0
全国比較	-9.2	-13.8	-13.1	-11.6	-2.8	-12.5	-10.1

(2) 学力（国語）と関連する学習状況項目※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合

	質問事項	歌津中	県(比較)	全国(比較)
1	Q42 国語の勉強は好きですか	95.4	67.0 (+28.4)	64.3 (+31.1)
2	Q46 国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解していますか	95.5	1.8 (+13.6)	78.7 (+16.8)
3	Q47 国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか	95.5	83.3 (+12.2)	80.5 (+15)
4	Q48 国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか	90.9	80.4 (+10.5)	76.7 (+14.2)

(3) 結果の概要と考察

- ①知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、県平均、全国平均を下回っている。時に「我が国の言語文化に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「読むこと」の項目では12ポイント程度差が見られる。このことから、文章中の説明を選択したり、内容を要約したりすることを苦手としていることがわかる。
- ②国語の授業では、個で考え、班で共有することで、より自分の考えがまとまると考える生徒が多い。
- ③国語の学習状況の項目は全体的に高い。自分の考えをタブレット端末を活用し、他に共有することで、下位層の生徒も上位層の生徒の考えを参考に文章を書くことができていると感じる生徒が多いと思われる。

(4) 今後の改善策

- ①国語の学習に苦手意識を感じている生徒は少ない。今後もタブレット端末やワークシートの活用の仕方を工夫し、個から班、一斉につながるような発問や教材の工夫をしていきたい。
- ②「情報の扱い方に関する事項」が12ポイント程度低いことから、問われている内容について情報を取捨選択し、根拠のある文章を書かせたい。そのために、自分の考えを他者と比較し、校正させる課題を設定していく。
- ③身近な資料を用いて、表現の仕方や文章の特徴を捉え、自分の表現に役立てができるようにしていく。

2 数学科

(1) 数学における平均正答率及び宮城県・全国との比較 ※比較については、+/-で差を記入

	数と式	図形	関数	データの活用	合 計
歌津中	38.3	31.9	55.2	43.8	43
宮城県	48.4	40.1	60.4	53.4	51
全 国	51.1	40.3	60.7	55.5	52.5
県比較	-10.1	-8.2	-5.2	-9.6	-8.0
全国比較	-12.8	-8.4	-5.5	-11.7	-9.5

(2) 学力(数学)と関連する学習状況項目※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合

	質 問 事 項	歌津中	県(比較)	全国(比較)
1	Q50 数学の勉強は好きですか	68.2	58.0 (+10.2)	57.2 (+11)
2	Q53 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.9	78.5 (+12.4)	78.5 (+12.4)
3	Q30 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	77.3	82.4 (-5.1)	80.3 (-3)
4	Q55 数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	86.3	79.7 (+6.6)	78.1 (+8.2)

(3) 結果の概要と考察

- ①4領域すべてにおいて県平均、全国平均を下回っており、特に数と式、図形、データの活用の領域で10ポイント程度差がみられ、生徒の習得率の低さが顕著である。
- ②数学を学習することの目的や粘り強く課題に向き合う姿勢が身についているので、学習意欲が高いことがうかがえる。
- ③「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という質問に対して、県平均や全国平均のポイントを下回っていることから、進んで学びたくなるような学習課題の設定や学習形態の工夫等において改善が必要である。

(4) 今後の改善策

- ①数学を学習することの大切さを伝えることを継続しながら、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組める手立てを工夫したい。
- ②県、全国と大きく差が開いている観点が、思考・判断・表現であることから、各領域の基礎的な知識・技能の習得にとどまらず、習得した知識・技能をアウトプットする場を設けることで、知識の定着・活用を図りたい。
- ③問題文を正しく読み取る力に課題が見られると分析する。何を問われているのか、与えられている情報を整理し、課題解決に向けた道筋が立てられるよう、板書の工夫やICT機器を積極的に活用することで、改善を図りたい。

4 生徒質問紙(重点項目のみ抜粋)

(1) 歌津中学校で特に課題と考えられる項目

	質 問 事 項	歌津中	県(比較)	全国(比較)
1	Q18 友達関係に満足していますか。	50	52.9 (-2.9)	55 (-5)
2	Q21 学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。	4.5	6.2 (-1.7)	9.2 (-4.7)
3	Q22 土曜や日曜など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか。	9.1	4.8 (+4.3)	5.7 (+3.4)

(2) 結果の概要と考察

- ①「友達関係に満足していますか」の質問について、「当てはまる」と答えた生徒が、県や全国よりも低い結果となった。また、「どちらかといえば、当てはまらない」と答えた生徒が13.6ポイントと多く、友達関係に課題を抱えている生徒が多いと言える。
- ②普段の勉強時間について、「2時間以上、3時間より少ない」の数値も含めると、県や全国よりも数値は高くなるが、「3時間以上」のみだと、県や全国よりも低い結果となる。
- ③休みの日の勉強時間について、「4時間以上」と答えた生徒は県や全国よりも高い数値であったが、「3時間以上、4時間より少ない」の数値が0ポイントであり、この数値を含めると県や全国よりも大きく下回る結果となる。

(3) 今後の改善策

- ①学級活動や朝の会、帰りの会などの時間の中で、意図的に人間関係を形成する活動を取り入れるなど、友達関係を良好に保つ取組を積極的に取り入れていく。
- ②勉強時間に差が生じている。学年全体として勉強時間を伸ばすために、家庭学習に力を入れる指導を行っていく。その中で、一人一人の生徒の実態に応じた課題を提示したり、学習方法を助言したりするなど、個別最適な学びが進むよう支援していく。また、友達同士で互いの家庭学習の方法を共有するなど、協動的な学びの視点も意識し、学習の動機づけにつなげていきたい。